

予知保全のための信号処理 〜実システムへの実装〜

アプリケーションエンジニアリング部 竹本佳充

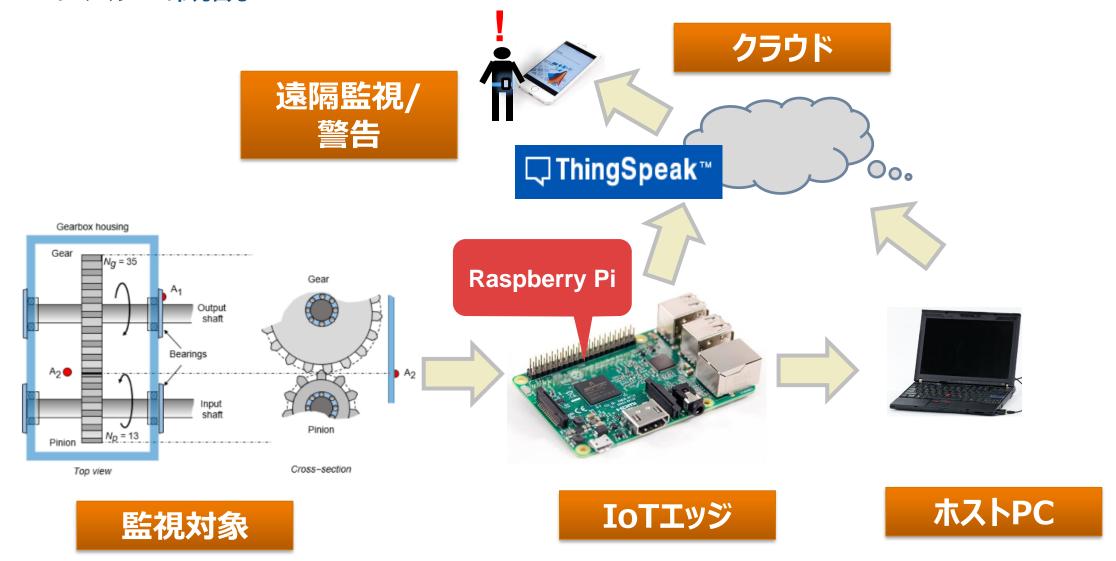


Agenda

- ■背景
 - Raspberry Piとは
 - ThingSpeakとは
 - その他活用可能なToolbox
- 製造現場での活用イメージ
 - 全体像
 - 段階的な導入
- 例題
 - 温度センサーのモニタリング、アラートの配信

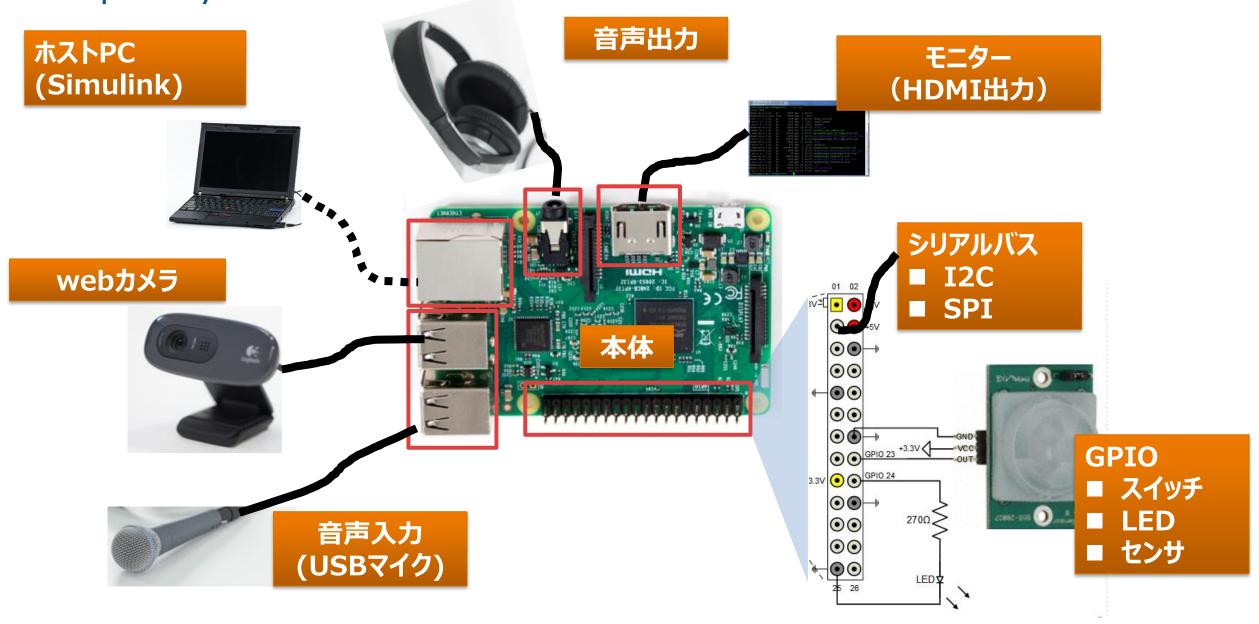


簡易IoTシステム概観





Raspberry Piの概観、インターフェイス





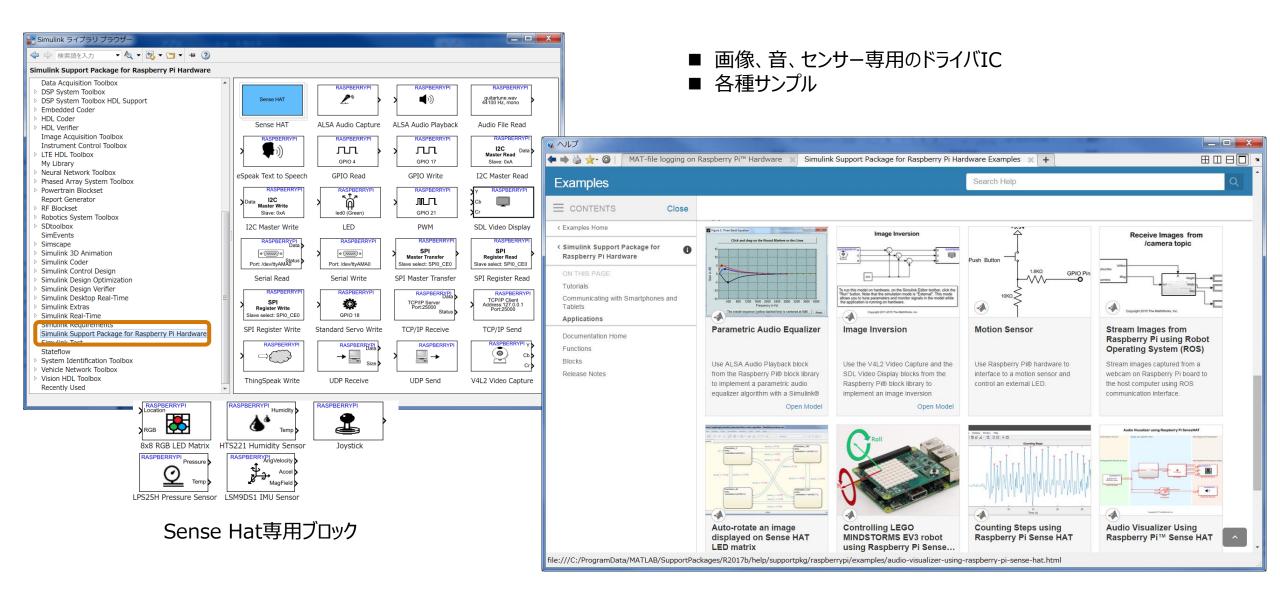
Raspberry Piの歴史

年	RasPi トピック	Simulink Support Package
2008	■ エベン・アプトン氏Raspberry Pi財団設立	
2011	■ 試作品完成	
2012	■ 初代Raspberry Pi リリース■ 初日二時間で1万台を売りきる■ 初日だけで10万台の発注	
2013	■ 累計200万台	■ リリース (R2013a)
2014	■ 累計300万台 ■ Compute moduleリリース	■ ThingSpeak Write (14a)
2015	■ Raspberry Pi 2, Zeroリリース ■ 累計500万台(Feb)	■ Pi 2対応 (15a) ■ MAC OS対応 (15a)
2016	■ Raspberry Pi 3 リリース ■ 愛知県稲沢市で製造開始 ■ 累計 1,100 万台(Nov)	■ Pi 3対応 (16a) ■ Linux OS対応 (16b)
2017	■ Compute module 3, Zero Wリリース ■ 累計1,500万台(Jul)	I2C,SPI,Serial (17a)Audio read, logging (17b)
2018	■ 累計 1,900 万台(Mar)	■ Pi Zero W対応 (18a)

- リリース当初は、コンピュータ サイエンスの授業利用を想定
- 学生をモチベートする基本方針
 - ▶ プログラミング可能
 - ➤ 楽しい
 - ➤ 小型で丈夫
 - ▶ 安価
- 現状教育用と産業用は半々 (産業用途が増加傾向)



Raspberry Pi サポートパッケージとは?





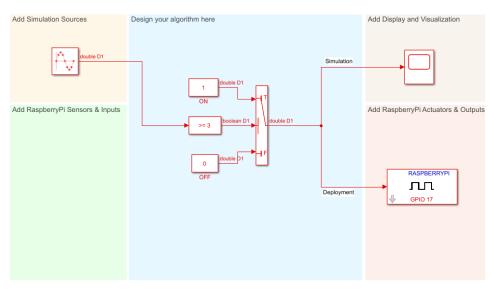
Click and drag on the Round Markers or the Lines

2205 4410 6615 8820 11025 13230 15435 17640 19845 22050 Frequency in Hz

The overall response (yellow dashed line) is centered at OdB.

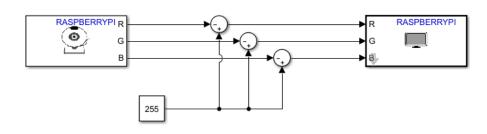
Raspberry Pi サポートパッケージとは?(cont'd)

Project Title: <Your project name here>



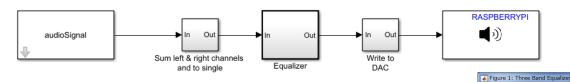
Organizing functionality as color-coded areas makes block diagrams descriptive and helps to develop increasingly complex algorithms.

例1) データのロギングと、ロギングデータへのアクセス



例2) Webカメラとの接続と動画モニタリング例

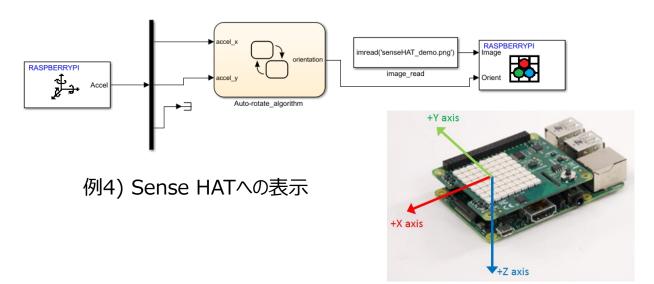
Parametric Audio Equalizer



To run this model on hardware, on the Simulink Editor toolbar, click the "Run" button. Note that the simulation mode is "External". This mode allows you to tune parameters and monitor signals in the model while the application is running on hardware.

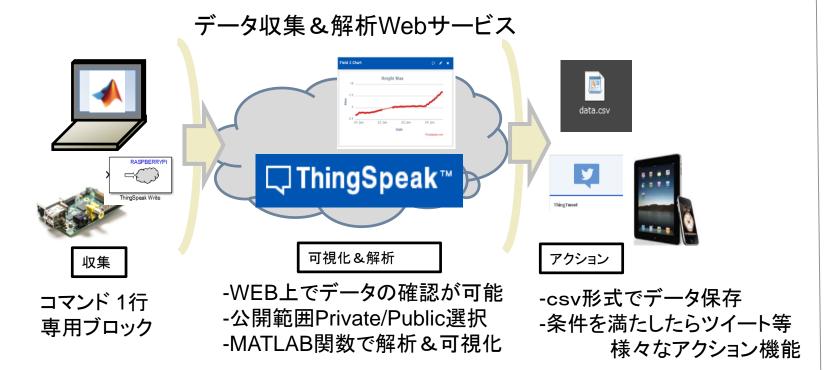
Copyright 2011-2015 The MathWorks, Inc.

例3) オーディオイコライザの実装





ThingSpeakとは



IoTプラットフォームThingSpeak利用のメリット

- ●インターネットでどこからでもデータ確認&解析
- ●Arduino/Raspberry Piとの活用で、低価格な実験系を構築
- ●プログラムの完了/データ異常をスマホでチェック

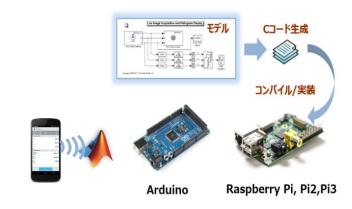
●準備は簡単3ステップ

- -アカウント/チャネル作成
- -関数群のインストール
- -専用コマンド/ブロック で簡単利用

thingSpeakWrite



●低価格HWとの相性が◎



簡易IoTシステムの構築

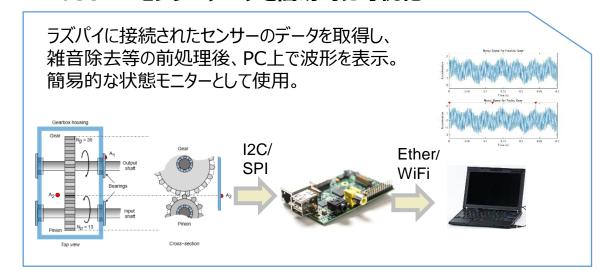


- ■背景
 - Raspberry Piとは
 - ThingSpeakとは
 - その他活用可能なToolbox
- 製造現場での活用イメージ
 - 全体像
 - 段階的な導入
- 例題
 - 温度センサーのモニタリング、アラートの配信

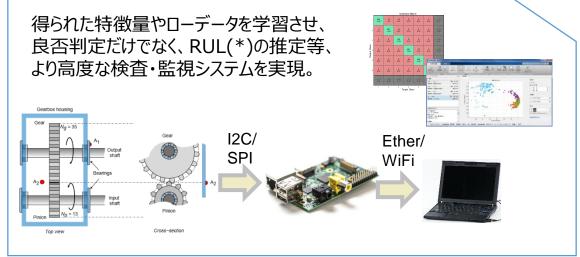


製造現場への段階的な導入イメージ

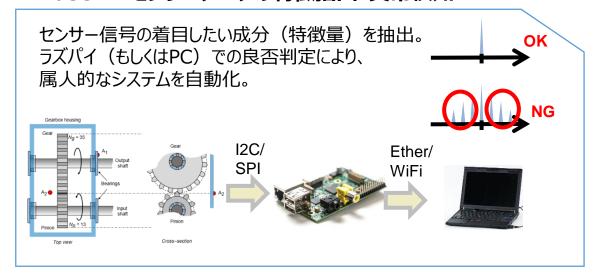
Phase 1: センサーデータを簡易的に可視化



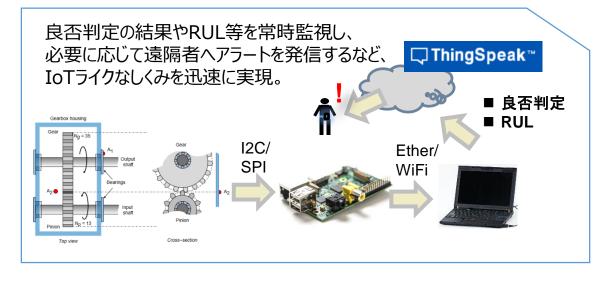
Phase 3: 機械学習/ディープラーニングの応用と予知保全



Phase 2: センサーデータの特徴抽出・異常検知



Phase 4: IoTライクな遠隔・集中管理システム



*RUL: Remaining Useful Life (設備の寿命)

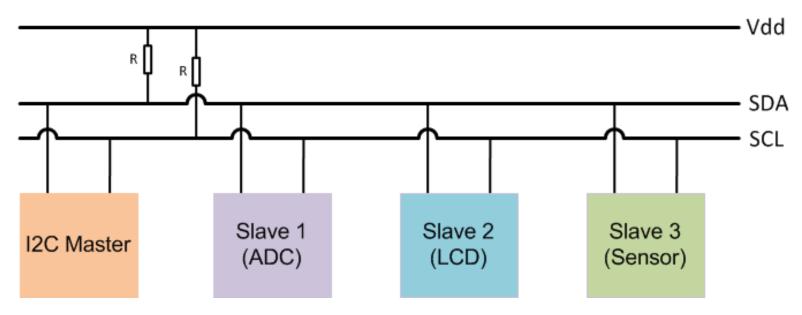
▲ MathWorks[®]

簡易IoTシステムの構築

- 背景
 - Raspberry Piとは
 - ThingSpeakとは
 - その他活用可能なToolbox
- 製造現場での活用イメージ
 - 全体像
 - 段階的な導入
- 例題
 - 温度センサーのモニタリング、アラートの配信



例:温度センサーのモニタリング、アラートの配信 ~I2Cインターフェース~



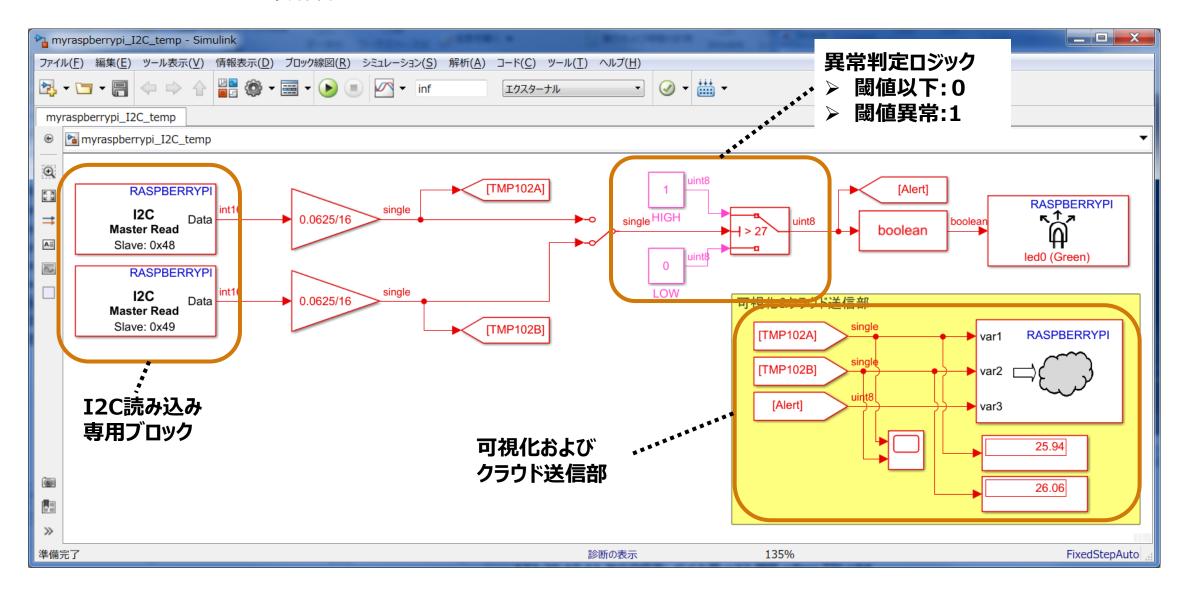
I2C接続概念図

I2Cの特徴

- ▶ 半二重通信のシリアルバス規格
- ➤ SDA(信号)とSCA(クロック)
- オープンコレクタ(Raspberry PiのI2Cピンは、1.8kΩでプルアップ)
- ▶ 最大112ノード
- ➤ デジタルI/OとADCとのインターフェースに使用可能



~Simulinkモデル概観~



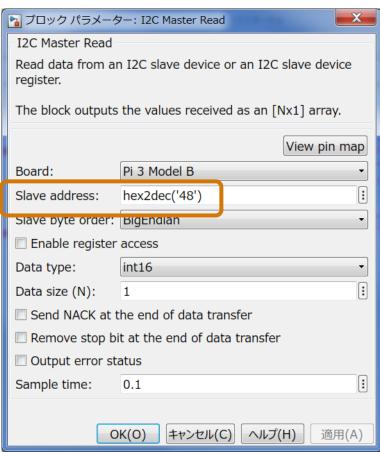


~専用ブロックのパラメータ設定~

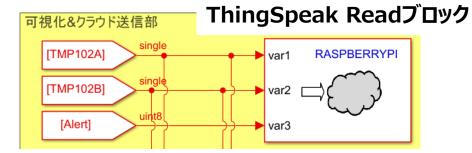
I2C Master Read ブロック

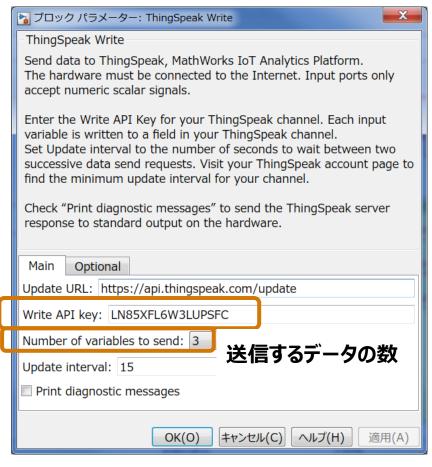


スレーブの アドレス



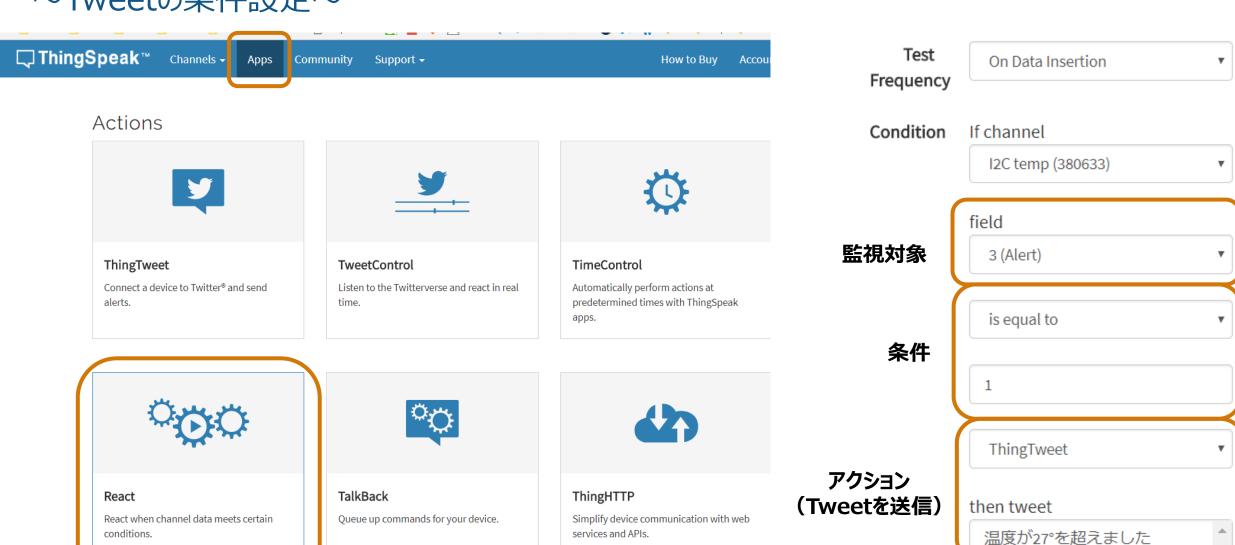
書き込み用API







~Tweetの条件設定~





Channels ▼

16:52

I2C temp

16:53

Date

16:54

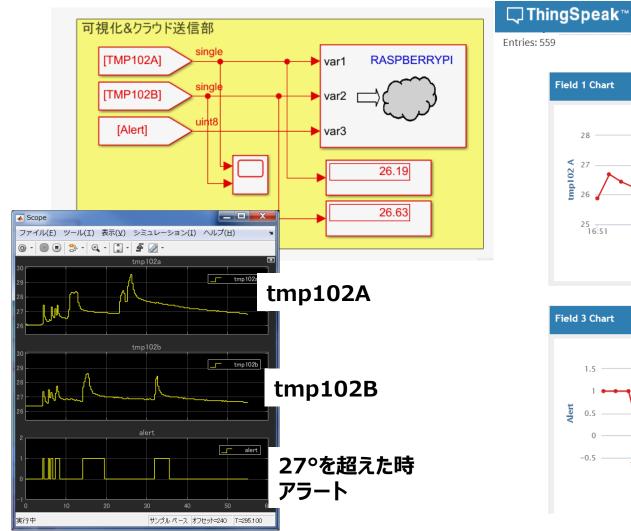
Apps

Community

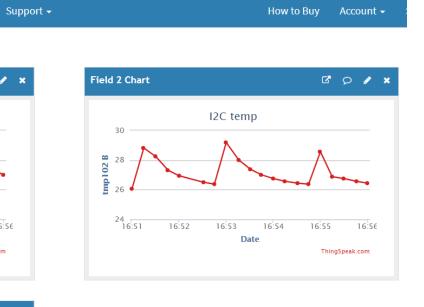
16:56

ThingSpeak.com

~実行結果~



クラウド(ThingSpeak)での可視化と アラートの配信





まとめ

- Raspberry Pi
 - ローコストH/W
 - 豊富なI/O(画像、音、センサー等)
 - 無償サポートパッケージ(I/O、UDP、ThingSpeak等)
- ThingSpeak
 - 簡易クラウド環境
 - ユーザ登録後すぐに使用可能
 - ツイート等のアクション登録によるアラート配信